

2-2 大陸に学んだ国づくり 大化の改新と新しい政治のしくみ

P94～P95

6年

組

番

名前

①【ねらい】大化の改新のあとの税のしくみと農民の負担がわかる。

②木簡について書こう。

・木簡は、**文字**が書かれた木の札

・木簡は、**都に運ばれてくる品物**に付けられていた札

③【基本】教科書の資料②を見よう。

- ・題を読もう。
- ・都の平城京を丸でかこもう。
- ・どのような生産物が運ばれたのだろうか。

塩 海草 魚 布など

④【ポイント】生産物の分布で気づいたことを書こう。

- ・布などは、北は東北地方、南は九州地方から運ばれた。
- ・海草や魚は平城京に近い近畿地方に多いが、九州地方からも運ばれた。
- ・塩は瀬戸内海のまわりに多い。特産物のようだ。

・「都までの日数」をくわしく見てみよう。

「10日以内」 →今の何地方が多いか。（**近畿地方、中部地方**）

「11日～20日」 →今の何地方が多いか。（**中部地方、中国地方、四国地方**）

「21日～30日」 →今の何地方が多いか。（**関東地方、中国地方、九州地方**）

「31日以上」 →今の何地方が多いか。（**東北地方、四国地方、九州地方**）

❗・どのようなことがいえますか。

- ・全国各地から特産物が都に運ばれ、人々の暮らしをささえた
- ・東北や九州からは、31日以上の日数をかけて運んだ。負担が大きかったのではないか。